

2010年 4月1日

株式会社アクセルスペース

超々解像技術開発のお知らせ

弊社はこのたび、超々解像技術による画像鮮明化プロセスを実用化致しましたので、ご報告申し上げます。

当該技術はアメリカ情報機関 CIA・NSA、イギリス情報機関 MI6 等が既に保有しており、この事実に基づいてハリウッドのスパイ映画・サスペンスアクション映画では『監視カメラ・人工衛星等で撮影された粗い画像からコンピュータ処理により何故か非常に鮮明な画像が復元される』というお決まりのシーンとして繰り返し取り上げられ、その有用性は世界的に認識されていました。しかしながら、原理等は軍事技術として極秘扱いされていたため、民間企業が実用化するのとは不可能と言われておりましたが、長年の研究開発の結果、民間企業としては弊社が世界に先駆けて実用化したものです。

当該技術により超小型人口衛星で撮影された 5m 分解能の画像を 5mm 分解能相当まで鮮明にすることができ、人口衛星の利用が爆発的に広まるものと期待されます。弊社では今後、製造する全ての人口衛星に当該技術を採用することを決定しており、年間 1,000 機の販売を目指します。

【超々解像技術について】

従来から家電・リモートセンシング分野で研究・実用化が進んでいるいわゆる「超解像技術」とは、全く異なる新技術です。

【適用例】

図1の画像に超々解像技術を適用すると
図2の様に防犯目的にも利用が期待されます。



図1 元の画像

Image courtesy of NASA

図2 超々解像処理後の画像



* 4月2日追記:上記内容は“4月1日記事”でございました。